



学校だより

騎西特別支援学校
令和4年度最終号
令和5年3月24日

～ 1年を振り返って ～

【小学部低学年】

今年度は11名の新1年生を迎えスタートしました。今年度も低学年全員での活動や行事は制限されてきましたが、校外での遠足（むさしの村）や社会体験学習（スケートの体験）を実施することができました。社会体験学習は、コロナ禍の中で実施できなかったため1、2、3年生ともに初めての体験となりました。今までインラインスケートで練習を積み重ねてきたこともあり、氷上での体験を楽しんでいる様子がたくさん見られ児童たちも楽しい思い出ができたようです。これからも色々な体験を積み重ねながら成長していった欲しいと思います。22日には、3年生と遊ぼう集会（小低卒業式）をブロック全体で行いました。一人一人証書もらう3年生の立派に成長した姿とその様子を見守る1、2年生の1年前とは違う学年としてのまとまりを感じることができました。

心身共に大きく成長した3年生、4月からは小高になります。小高でも頑張ってください。1、2年生は、それぞれ2年生、3年生になります。来年度も元気にたくましく成長する姿を見せて欲しいと思います。

【小学部高学年】

今年度を振り返ると、校外宿泊学習・修学旅行・遠足・社会体験学習と、どの校外行事も感染症対策を講じた上ですべて無事に実施することができました。昨年度までの2年間は、多くの行事が中止されたことを思うと、学校の日常が少しだけ戻ってきた1年間になったと思います。

小高集会で感じたことですが、一人一人がそれぞれの役割・目標に応じて頑張っている姿を見ることができたことは教員にとって大きな収穫でした。それぞれの学年での学習の積み重ねが実を結び、大きな集団でも力が発揮できるようになってきていたことを、教員皆がうれしく思いましたし、きっと児童の皆さんも自分自身、そして友だちが成長していることを実感できた集会になったかと思います。

先週、6年生15名は小学部を卒業しました。新たな気持ちで4月から頑張ってくれることと思います。4、5年生も学年が1つ進みます。友だちと切磋琢磨し合い、更に成長していくことでしょう。

【中学部】

今年度は、学年単位で運動会（1、2年生）、校外での宿泊行事、きらり祭を実施することができました。3年ぶりに文化祭のステージに立った生徒達ですが、緊張感もありつつ、保護者の皆様からの拍手を受けて、演技も輝きを放っていましたね。忘れかけていた感動を再び味わうことができました。製品頒布も経験できたことで作業学習にも前向きに取り組むことができました。社会体験学習では、全学年がイオンモール羽生での買い物学習を体験できました。学年末に友だちと外出する機会になり、良い思い出ができたことと思います。このように折々に楽しみにできる行事があることで校内での学習や生活にも弾みがつくことを教員も生徒達も実感した1年だったのではないのでしょうか。加須市立騎西中学校とは作品を交換し合って展示する形式でしたが、お互いの顔が見える交流も近いうちに再開していきたいものです。先週の卒業式では、16名が中学部を卒業しました。3年生を送る会はオンラインでの実施でしたが、卒業生をお祝いする在校生の温かい気持ち、中学部のことを在校生へ託す卒業生の気持ちを伝え合うことができました。卒業式も在校生はライブ中継を視聴して旅立つ先輩たちの姿を見守りました。生徒達のこれからの健康と成長を願ってやみません。

【高等部】

『1年を振り返って』とのことですが、どうしても『3年単位』での振り返りになってしまいます。令和2年度入学の皆さんは入学式直後からの休校措置、分散登校を経ての授業再開。朝トレや作業学習等々、学年単位での活動が中心となり、こじんまりと日々を過ごしていたように思えます。

校内外の行事にも制限が設けられ、縮小ムードの中での実施・開催となりました。このように表現すると「残念でした」「来年こそは」といったネガティブなイメージが先行しがちですが、「こじんまり」「縮小」の中にもポジティブな一面が感じられることがありました。大きな集団や待ち時間が苦手なメンバーたちにとっては、これまでにないくらいの生き生きとした表情で行事に参加できていたことです。「短時間で終了する→見通しが持ちやすい→落ち着いて参加できる」といった正のスパイラルが成立しやすくなった点も、この3年間の利点でした。

とはいえ、皆さんのこれからの人生が、たくさんのイベントに恵まれることを心から祈っています。